

授業に関するアンケート（2018 年度春学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね 4 ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
キリスト教・同志社関係科目

（1）授業実施に関する質問結果について

1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 89%で、多くのクラスで「そう思う」が最多の選択率であった。 ・ 「聖書A」は、どの担当者もクラスによって「そう思う」の選択率にばらつきが見られた。
2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 79%であった。 ・ 同じ担当者の同じ科目でもクラスにより「そう思う」と「ややそう思う」の割合に大きな差が見られた。
3. 授業レベルは自分に合っていましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 73%であった。 ・ 必修の「聖書A」で、「そう思う」の選択率に比較的大きな差が見られたが、肯定的な評価の合計では差は減少している。
4. 教員からの一方的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 70%であった。 ・ 登録者数が 100 名を超す講義科目も含め、大半のクラスで肯定的評価が半数を超えていた。
5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナビーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 63%であった。 ・ 科目や担当教員による大きな差異や傾向は見出せなかった。
6. 言葉による説明だけではなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 85%であった。 ・ 科目や担当教員による大きな差異や傾向は見出せなかった。
7. 自主学習を促す工夫がなされていましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 49%であったが「そう思う」の選択率は 16.3%に留まった。 ・ 概して科目よりは担当教員による差異が大きいが、同じ教員でも科目による差異が大きい例も見られた。
8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。
・ 「パワーポイント等」の選択率が 18.7%と最多であり、次が「話し方」の 9.6%であった。 ・ 同じ教員で「話し方」の選択率が科目により大きく異なる例があり、そのような結果となる理由が理解しにくい。

（2）この授業の学修行動に関する質問結果について

9. この授業の予習、復習、自主学習に 1 週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。 ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。
・ 「30 分未満」の選択率が 83.4%と圧倒的多数を占めた。 ・ Q7（自主学習を促す工夫）の結果とある程度の相関関係があるように見受けられた。
10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。
・ 評点が低くなるにつれて選択率が高くなる傾向となった。 ・ 科目や担当教員による大きな差異や傾向は見出せなかった。
11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
・ 肯定的評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 42%、否定的評価（あまりそう思わない・そう思わない）の合計が約 49%であった。 ・ 「聖書A」では担当教員により評点分布の差異が見られた。

12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。
・ 「必修」の選択率が 67.1%で最多であった。 ・ 「先輩・友人の勧め」が 8.1%と比較的高かった。

（3）この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたか。
・ 肯定的評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 69%であった。 ・ 科目や担当教員による大きな差異や傾向は見出せなかった。
14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
・ 肯定的評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 60%であった。 ・ 科目や担当教員による大きな差異や傾向は見出せなかった。
15. DWCLA10 の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください（複数選択可、なしも可）。
・ 「思考力」の選択率が 43.8%で最多であった。このことは本科目区分が道德や社会的・宗教的規範を教えるものでなく、当然のこととして学術的内容で構成されていることを裏付けられると思われる。 ・ 「思いやる力」の選択率が 16.8%と比較的高い。このことは本科目区分が建学の精神を伝える役割を果たすことに一定程度成功していることを裏付けられると思われる。

（4）その他

全ての項目において肯定的な評価の合計が、昨年度に比べてわずかではあるが低下した。
--

教育開発支援センター